



各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
 代 表 者 名 代表取締役 島田 卓
 (コード番号：6190 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘
 (TEL 082-431-0016)

株式会社免疫生物研究所との業務提携契約締結に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、脂質代謝研究用素材である「PXB-cells LA」の製造販売の開始、及び株式会社免疫生物研究所（以下「IBL社」）における「PXB-cells LA」を用いた受託試験サービスの開始に併せ、これに掛かる業務に関して、IBL社と業務提携契約を本日締結いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

1. 業務提携の理由、内容等

当社はPXBマウス®をはじめ、PXB-cells®の販売において、当該製品群のユーザーを始めとして国内外に広く販売網を確立してまいりました。一方、IBL社は脂質代謝研究領域において、LipoSEARCH®や各種関連因子に対するELISA測定キットなどを国内外に広く提供してきております。この度の業務提携は、双方の技術を提供し、双方の販売経路を相互に活用することを目的とするものであり、両社の企業価値を向上することが期待できるものと考えております。

2. 提携先の概要

(1) 名 称	株式会社免疫生物研究所		
(2) 所 在 地	群馬県藤岡市中字東田1091-1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清藤 勉		
(4) 事 業 内 容	研究用試薬の開発・製造及び販売、受託研究及び受託生産、医薬品並びに医薬部外品の開発・製造及び販売、カイコを用いたタンパク質生産の開発・製造及び販売		
(5) 資 本 金	3,029,041千円		
(6) 設 立 年 月 日	1982年9月9日		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(8) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
連 結 純 資 産	2,145,763千円	1,948,457千円	1,629,282千円
連 結 総 資 産	2,988,314千円	2,372,989千円	1,838,038千円
1株当たり連結純資産	245.47円	208.97円	174.70円
連 結 売 上 高	781,215千円	576,692千円	602,749千円
連 結 営 業 利 益	△173,680千円	△595,359千円	△240,984千円
連 結 経 常 利 益	△155,747千円	△678,762千円	△310,511千円
親会社株主に帰属する当期純利益	△167,319千円	△668,125千円	△318,827千円
1株当たり連結当期純利益	△19.82円	△76.00円	△34.23円
1株当たり配当金	0.00円	0.00円	0.00円

3. 業績に与える影響について

本件が当期の業績に与える影響はありませんが、将来的に公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(添付)

脂質代謝研究素材「PXB-cells LA」の販売・受託試験の開始、及び、これに係る業務提携契約締結に関するお知らせ

以 上

2022年3月15日

各 位



会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
代表者名 代表取締役 島田 卓
(コード番号：6190 東証マザーズ)



会 社 名 株式会社免疫生物研究所
代表者名 代表取締役 清藤 勉
(コード番号：4570 JASDAQ)

脂質代謝研究用素材「PXB-cells LA」の販売・受託試験の開始、及び、
これに係る業務提携契約締結に関するお知らせ

株式会社フェニックスバイオ（以下「PXB社」）による脂質代謝研究用素材である「PXB-cells LA」の製造販売の開始、及び株式会社免疫生物研究所（以下「IBL社」）における「PXB-cells LA」を用いた受託試験サービスの開始に併せて、両社は本業務に関する業務提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

両社は双方の技術を提供し、かつ双方の販売経路を活用することにより、国内外のユーザーに対して「PXB-cells LA」細胞の製造・販売から薬効薬理試験の受託サービスまでを提供することで、当該製品の特長・価値を最大限に生かし、大きな市場に向けた新たなビジネスをグローバル展開していくことを目指してまいります。

1. PXB-cells LAについて

PXB-cells LAは、PXB社の独自製品であるPXB-cells^{注3}を元に、脂質代謝研究素材として新たに開発^{注1,2}したヒト肝細胞であり、PXB-cellsが持つ高い細胞機能と利便性に加え、細胞質内に中性脂肪を過剰に蓄積する脂肪肝状態を再現しました。

脂肪肝は日本国内における罹患者数が1,000万人以上とも推定されており、放置するとその後、肝炎、肝硬変を経て肝臓がんに発展する可能性が危惧される基礎疾患として予防や治療の対象となっております。また、脂肪肝の原因の多くは生活習慣に起因する脂質代謝異常と考えられていることから、PXB-cells LAは、脂肪肝だけでなく脂質代謝異常に関わる様々な課題の解決に寄与することが期待されております。

2. 受託試験サービスについて

PXB-cellsの開発過程においては、IBL社独自の脂質解析技術であるLipoSEARCH®を使用し、有用性を支持するデータ取得^{注1,2}を実施しております。この度のPXB-cells LAの販売開始に併せて、脂質代謝研究で多くの実績を有するIBL社は、PXB-cells LAを用いた脂質代謝異常や脂肪肝などに対する薬効薬理評価の受託試験サービスを提供開始いたします。IBL社は、脂質代謝関連因子に対するELISA測定キット製品を多数所有し、これらの測定系を用いて、PXB-cells LAの培養上清を測定することで、脂質代謝異常や脂肪肝に関するin vitro試験の実施が可能になります。

3. 両社の業務提携について

PXB社は、PXBマウス及びPXB-cells等の当該製品群のユーザーを始めとして国内外に広く販売網を確立しております。一方、IBL社は脂質代謝研究領域において、LipoSEARCH®や各種関連因子に対するELISA測定キットなどを国内外に広く提供しております。この度の業務提携により、双方の技術を提供し、双方の販売経路を相互に活用することで、両社の企業価値を向上することが可能になります。

4. 日程

2022年4月1日より、PXB社からPXB-cells LAの販売が、IBL社から受託試験サービスの提供が開始されます。

5. 今後の見通し

脂質代謝異常や脂肪肝の研究領域には、製薬企業のみならず、機能性食品を擁する食品企業、大学や各種研究機関などから多くの研究者・研究団体がエンドユーザーとして参加しております。両社は、PXB-cells LAの製造及びこれを用いた受託試験サービスを通じて、脂質代謝異常や脂肪肝に関わる様々な課題解決に貢献していく所存です。

以 上

注1：経済産業省平成30年度及び令和元年戦略的基盤技術高度化支援事業

脂質代謝研究素材として高脂質代謝機能と高利便性を備えるヒト肝細胞の開発

注2：登録番号（第7039045号）

注3：新鮮ヒト肝細胞「PXB-cells」並びにヒト肝細胞キメラマウス「PXBマウス」はPXB社の登録商標です。